



福島南ロータリークラブ

基本方針: 原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：斎藤信男 斎藤善重 佐々木孝光 丹治洋子

第15回例会

平成 24 年 10 月 15 日 (月) 国際文化会館 (移動例会) 東京都港区六本木 5-11-16

■会員/67名 ■出席/26名 ■出席率/38.81% ■メイクアップ/35名 ■修正/61名 ■修正率/91.04%

本日のプログラム

姉妹クラブ締結一周年記念例会

- 1 開会点鐘
- 2 麹町RC 辻嶋会長挨拶
- 3 麹町RC 須藤幹事報告
- 4 福島南RC 紺野会長挨拶
- 5 ゲスト紹介 (幹事)
- 6 閉会点鐘

記念卓話 大空 眞弓 様

祝宴 PM19:10~20:30

乾杯 大橋 廣治 様
閉会挨拶 野地 利雄 様

会員の広場

《奉仕プロジェクト委員会》

11月14日(水)の例会は、「子供達に元気を与えよう」というテーマでクラブフォーラムを行う予定になっています。福島の復興は子供達の元気な姿から始まります。できるだけ皆さんの考えを纏めたうえで、フォーラムに参加いただきます様ご協力お願いいたします。

今日の一面記事

埼玉県加須市にある双葉町役場機能本体の移転先は、いわき市東田町の福島地方務局勿来出張所跡地に決まった。井戸川克隆町長が15日に加須市で開かれた臨時議会で明らかにした。町は年内に着工し、今年度内に移転を目指す方針だ。

H24.10.16 福島民報転載

◆姉妹クラブ会長あいさつ◆

東京麹町RC 辻嶋 彰 会長

今日は、昨年10月19日に姉妹クラブとなりました福島南RCの紺野会長をはじめとするたくさんの皆様においでいただき、その1周年を記念する例会でございます。ようこそおいでいただきありがとうございます。

本日のゲストスピーカーには、女優の大空眞弓さんにおいでいただき元気の出る楽しいお話をいただく予定です。あらためて御紹介申し上げますが、大空さん、後ほどよろしくお願いたします。

メンバーの有田謙さんが10月8日に亡くなりました。61歳という若さでした。ゲストの皆様には申し訳ありませんが、ここで黙とうをしたいと思います。

・・・黙とう・・・

有田さんは、東京青年会議所を経て1993年10月にわがクラブに入会され、本年度は病をおしてロータリー財団委員長として活躍されていらっしゃいました。9月10日の藤谷会員の歓迎会にも出席され

ていましたが、その後病勢が進み、ついに帰らぬ人となってしまいました。心から御冥福をお祈り申し上げます。

この10月11日には、福島南RCの日光カンツリークラブでのゴルフ会に須藤幹事、新保副幹事、廣田KRG幹事の3名が参加させていただきました。ありがとうございます。

13日には、武蔵野文化会館での震災復興支援チャリティーコンサートを無事終えることができました。長廣社会奉仕委員長をはじめ関係者の皆様の御協力に心から感謝いたします。

また、昨日は、皇居一周を歩く会の第2回目がさわやかな秋空の下で行われました。奥野健康管理委員長、また来月以降もよろしくお願いたします。

さて、姉妹クラブ締結からあつという間の1年が過ぎました。その間にクリスマス会やゴルフ会などに参加させていただき、姉妹らしくなってきたかなあ、と思いますが、熱々のカップルも年を重ねるとともに・・・ということもありますので、今日は、福島南クラブの皆様がたくさんおいでいただきます熱々になる機会にしたいと思います。何卒よろしくお願いたしまして、会長のあいさついたします。ありがとうございました。

紺野 仁昭 会長

福島南ロータリークラブ会長の紺野と申します。一言ご挨拶を申し上げます。



東京麹町ロータリークラブ様は東日本大震災後、福島を中心とした福祉施設等に車を80台寄贈して下さったり、風評被害対策の一つとして、産直農産物を何回も購入して下さったりと、福島の復興に大変ご尽力いただいております。本当にありがたく、心より感謝申し上げます。

現在、福島市内におきましては、放射線量の高い地域から除染作業が進められております。子供達の使用する学校や保育所は、ほとんど完了しておりますが、公園や児童遊び場などは 発注件数に対して約3割、一般住宅に関しては 発注件数に対して約2割しか完了しておらず、なかなか予定通りに進んでいないのが現状でございます。

県外への避難者数は福島県で6万人、福島市だけで言えば、7200の方がまだ県外で生活をしておられます。一見は元に戻ったかのように見えますが、実際はまだまだ頑張らねばなりません。

さて、昨年10月19日に姉妹クラブとして締結をさせていただきました。締結式の際は、福島まで多数おいで下さりまして、非常に感激いたしました。その後も福島に何度も足を運んでいただいておりますが、こちらからお伺いする事が中々出来ずいたしました。

昨年、「来年1周年を迎えるに当たり福島から訪問したい」との意向をお伝えしましたところ、是非にどのお返事をいただきました。そして、今年度におきまして、訪問する予定を年度プログラムに組みましたこととお話しをいただき、今回、移動例会として実現いたしました。26名という大人数で参加させていただきましたことを、心より、厚く御礼申し上げます。

今後姉妹クラブとしてよろしくお願申し上げます。簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

今後姉妹クラブとしてよろしくお願申し上げます。簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

◆記念卓話◆ 女優 大空 眞弓 様



こんばんは、今日は、辻嶋先生のご縁でこうして皆様とお目にかかることができ本当に幸せだなと感じております。家の近所に袖すり坂というのがございまして、そこ

を通るたびに、「ああ、ここは細い道でちょっと袖をするにも多少の縁があった」と思いながら昔の方々

が軽く挨拶をしながらその坂を上ったり下ったりしたのかなあと感じております。

今日、皆様とお逢いしたのも、辻嶋先生のご縁ということで、とても嬉しく感謝しております。

(中略) 紙幅の関係で全部は紹介できませんが、中段では、出生から現在までの波乱万丈のエピソードをお話いただきました。

「大きい目、小さい目」という連続ドラマで、渥美ちゃんと共演したときのある日、渥美ちゃんが「大空ちゃん、役者って普通の人より恵まれすぎてるよねえ」、「うん、恵まれていると思うよ」、「そしたらさあ、大空ちゃん、なにか一つぐらい不都合というか、便利じゃないものがあるといいよねえ」っていうから「そうよねえ、渥美ちゃんは何が不便なの」って言うと「僕はねえ、車持っていないだよ、それにねえ大空ちゃん、電車に乗るとねえ、いろんな人に逢えるんだよ、いろんな物語が車両にはいっぱい詰まっているんだよ、いろんな人生が見えてくるんだよ、・・・「そうだよねえ、渥美ちゃん、そうだよねえ、ありがとう」・・・そして、あくる日、私は車を手放しました。それから、渥美ちゃんの言うとおり、個々のいろいろな人の顔が本当の意味できちんと見ることができ、きちんと感じる事ができ、きちんと受け止めることはまだ自信がありませんけど、渥美ちゃんに言われた前の自分より少しは、いろんな人の気持ちも汲み取ることができるようになったかなあと感じております。

人との出逢い、本当に多少の縁ではございますが、そのときに逢ったということ、今この歳になって感謝をしています。

今日も、皆さんと楽しいお食事の会を過ごさせていただけるのを本当にありがたく感じております。どうぞ、今後もお見忘れのないようお願いいたします。



今月・来月のプログラム

- 10月24日(水) 夜間例会(宴会無)
- 10月31日(水) 休会
- 11月07日(水) 「海外でのボランティア活動」
福島大学生のスピーチ
- 11月14日(水) 「子供達に元気を」のテーマで
クラブフォーラム

一編集後記一

とんぼ返りの移動例会でしたが、改修された東京駅はしっかりと見てきました。(松崎)